

安全・安心・住みよいまちづくり

ネットワーク

第24号

発行日 平成29年8月17日
発行 白石地区
ネットワーク協議会
責任者 情報交流部会長
大赤見 博

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 861-8270



「札幌市安全で安心なまちづくり功労者表彰」を受けて

● 白石地区ネットワーク協議会 青少年女性部会 部会長 丸谷 淳二

平成29年3月15日札幌市役所本庁舎にて、秋元札幌市長より白石地区ネットワーク協議会青少年女性部会の基幹事業であります「通学パトロール隊」活動が表彰を受けましたのでご報告させていただきます。

平成13年6月8日、大阪教育大学附属池田小学校において起こった極悪非道な児童殺傷事件、皆様の記憶に新しいこの事件を契機に全国の地域ボランティア活動が活発になり、平成16年5月、ここ白石地区において中澤迪也会長のもと発足した事業が「通学パトロール隊」であります。「地域の子どもは地域で守る！」というスローガンを掲げ、本年に至るまで13年間、白石地区5校の小学校単位に自主パトロール隊を組織し地道に活

動してまいりましたが、この度札幌市長より名誉ある表彰を受け、これまで活動に積極的に参加されてこられた諸先輩の皆さまのご功労に対し感謝申し上げる次第であります。

昨今、インターネット、スマートフォンの急速な普及により、子どもたちを取り巻く環境が変化し続けている中、「善意」と「悪意」が平然と混在する世の中になってきています。子どもたちの健全な成長を願う私たちは、お互いの顔が見える地域や家庭、学校で培われる「身近な人と結ぶ信頼の絆」こそが子どもたちへの温かい支えになるという共通の思いを胸にこの活動を継続してまいりたいと考えております。これからも、皆様のご支援宜しくお願い致します。



■ 市長より功労者表彰を受賞



■ 受賞者全員の記念写真

平成29年度 白石地区ネットワーク協議会 定期総会

● 白石地区ネットワーク協議会 副会長 石藤 政昭

平成29年5月24日（水）白石会館で平成29年度「白石地区ネットワーク協議会」の定期総会が開催されました。

冒頭、浅沼会長の挨拶の後、議案では、平成28年度事業、収支決算、監査報告、29年度主要事業計画、収支予算、役員選出のすべてが満場一致で承認されました。

なお役員選出については、下記役員が選任されました。

会長	浅沼英樹	再任
副会長	栗山文雄	再任
//	石藤政昭	再任
//	米山一政	再任
会計	富樫東三郎	再任
監査	長沼恵美子	再任
//	川曲友子	新任

また浅沼会長より会長就任の挨拶の後、事務局長、6専門部会長の発表がありました。

事務局長	加我洋子
情報交流部会長	大赤見博
防災部会長	小川悟
生活安全部会長	岩渕清宣
保健福祉部会長	金岩恵栄
青少年女性部会長	丸谷淳二
体育振興部会長	坪田敏男

その後、懇談会が開かれて各種団体から100名（総会108名）が参加して交流を深め、盛会のうちに終了しました。



事務局長の1年をふりかえって

● 白石地区ネットワーク協議会 事務局長 加我 洋子

昨年の4月1日より連合町内会女性部長を、前女性部長の井元さんより引き継ぎ、同時にネットワーク協議会の事務局長をお引き受けする事になりました。協議会の行事として、9月に「いきいき健康まつり」10月に「まちづくりふれ愛音楽会」と1月に「白石・雪であそぼう！ in南郷丘公園」があります。

今迄は参加するだけでしたが、事務局長となり行事の受付をしたりで、わからない時は井元さんに相談したり又、単町の女性部長さん達のお陰でなんとか1年を過ごす事が出来ました。その間に楽しい時、大変な思いもありましたが1年はあっという間に過ぎたというのが本音です。

堤 繁雄監査を偲んで

● 白石地区ネットワーク協議会 会長 浅沼 英樹



白石地区ネットワーク協議会の監査堤繁雄様は1月24日に享年90歳でご逝去されました。ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

平成16年3月に設立されたネットワーク協議会の監査として長年当協議会の発展に多大なるご尽力をいただきましたことに深く敬意を表し感謝を申し上げます。

堤繁雄様は札幌市老人クラブ連合会・白石区老人クラブ連合会の会長として発展に尽くされ、地域福祉の向上に関わり献身的な活動をされました。ご生前の功績を称え、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



20周年を迎えた 福祉のまち推進センター

● 白石地区福祉のまち推進センター 運営委員長 栗山 文雄

白石地区社会福祉協議会（略称：地区社協）の事業実施部門である福祉のまち推進センター（略称：地区福まち）が、おかげさまで今年5月開設20周年を迎えることができました。これもひとえに関係機関並びに地域の皆様のご指導ご支援の賜と心からお礼申し上げます。

社協・福まちは、少子・高齢化が進むなか、誰もが孤立せずお互いに支え合う温もりのあ

るまちづくり、暮らしにくさや困りごとを抱えた住民に寄り添い的確な支援ができるまちづくり、そして安全・安心で暮らしやすい環境づくりの実現に向けて、関係機関や地域の諸団体と連携して活動しています。

今年度も引き続き高齢者の見守り活動支援や子育て支援事業に重点を置き推進してまいります。今後とも理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ 一人暮らし高齢者のさわやか集い



■ 落語を楽しむ一人暮らし高齢者



白石地区まちづくりビジョンが完成 ホップステップ白石！

● 白石地区ネットワーク協議会 会長 浅沼 英樹

白石地区ネットワーク協議会並びに各関係団体から37名の参加のもと3回の勉強会・意見交換会で検討を行い、まちづくりビジョンを策定しました。「住み続けたい、帰ってきたい、ぬくもりのあるふるさと」を白石地区の理想の将来像と考え、それに向けて、一歩ずつステップアップしながら次代につながる明るい未来を目指すことを大切に考えました。

実現に向けた目標を3つ策定し、目標1は子どもから高齢者まで健康で安心して住み続

けることができるまちづくり、目標2は様々な世代の交流から若い世代も関わり賑わいをつくるまちづくり、目標3は白石地区の歴史や地域資源を誇りとして育て伝えるまちづくりです。

皆様と力をあわせて取り組んでいきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。





町内会創立70周年を迎えて

● 白石中央東親交会 会長 加賀 靖之

当町内会は、昭和22年7月10日に創立されて、本年で70周年の大きな節目を迎えました。7月22日（土）白石会館において、部白石区長、浅沼白石地区連合町内会長をはじめ隣接町内会長および町内会員70余名のご臨席を賜り、町内会創立70周年記念式典・祝賀会が盛大にとりおこなわれ、町内会事業に長年貢献された役員始め協力者に対し感謝状を贈呈しました。関係各位の皆様には感謝に堪えない次第でございます。

当町内会の前身は、戦前からの部落会制度により白石中央部落会に所属しておりましたが、昭和18年2月に部落会制度の強化により、陸軍官舎部落会と合併して中央東部落会となりましたが、昭和20年8月終戦となり強大な結集力をおそれた進駐軍により部落会（隣組）は解散させられたのであります。

戦後まもない、昭和20年11月に街灯組合

を結成した結果、所期の目的を達成したことを踏まえて、会員190余名により白石中央東親交会を創立したのであります。

創立当時は、現在の国道12号線の本通1・2丁目南北には、白石村役場、小学校、巡査駐在所、診療所、時計店および米穀店等が密集して、行政、文教、商業の中心地帯でありました。

昭和25年7月1日白石村が札幌市に編入されて、札幌市白石町となり、農村地帯を中心に都市化が進化して急激に人口が増加して、会員数も1,300世帯と膨張したことにより、札幌市の政令指定都市の施行と同時に、町内会のエリアを国道12号線を境界として、南側を白石中央南親交会、北側を白石中央東親交会に分離して現在に至っております。

この意義深い創立70周年を節目として、地域コミュニティを醸成して、社会情勢の変遷に対する施策について鋭意努力し、魅力ある安心で安全な街づくりに努めてまいりますので、一層のご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。





白石地区三者交流会に参加して

● 北海道新聞パラスポーツアドバイザー 永瀬 充
(バンクーバーパラリンピック銀メダリスト)

この度は第33回白石地区三者交流会（平成29年7月7日開催）にお招きいただきありがとうございます。

「夢をあきらめない ～未来は自分でつくる～」と題して私自身の経験を交えながらお話しさせていただきました。

私はバスケットボールに打ち込んでいた高校生の時に、10万人に1人という神経の難病（CIDP）が発症して手足が不自由になりました。何で自分だけこんな目に合うんだと、つらい時期を過ごしました。そんな私に光を与えてくれたのが障害者スポーツでした。

アイススレッジホッケーと出会って、大好きなスポーツを思い切りできる喜びを再び感じ、パラリンピックという夢を持つことができました。

どうせやるならパラリンピックでのメダル！と、競技に打ち込みましたが、長野大会から3大会は5位という結果でした。3回目のトリノ大会では、大会中にチーム内が分裂し、私も精神的に追い詰められ初めてホッケーを辞めたいと思いました。



■ 三者交流会全体写真

大会後1年間は苦しみ悩み続けました。そんな時、支えてくれたのは家族やチームメイト、応援してくれる人たちでした。自分だけではなく、みんなで追



■ 永瀬講師

いかけている夢。苦しかったのは自分だけではない。みんなも同じように辛かったんだ。チャンスがあるからメダルをもう一度目指したい。仲間と共にもう一度、メダルに挑戦しようと決めました。

そして3年後のバンクーバー大会。準決勝で地元開催国の強豪カナダとの激闘を制し、初めて念願の銀メダルを手にすることができました。

アイススレッジホッケーと出会い、仲間と出会い、夢を諦めず続けてきたことが今の私自身をつくり、未来をつくっていくと信じています。支えてくれる多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

未来を担う子どもたちが、夢を持って諦めずに挑戦し続け、自分の人生を切り拓いてほしいと願っています。その環境づくりは我々が担うべきところです。

今回、白石地区三者交流会に参加された方々をはじめ、地域や子どもたちのためにご尽力されている方が多くいらっしゃることは、地域にとって大きな力です。白石地区がますますご発展されることを心からご祈念申し上げます。



平成29年度札幌方面防犯団体連合会より 防犯功労者（団体）表彰を受けて

● 白石地区ネットワーク協議会 生活安全部会 部会長 岩淵 清宣

去る7月3日（月）ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、札幌方面防犯団体連合会の定期総会が開催され、この総会に先立ち、札幌方面所在の防犯功労者（32名）、防犯功労団体（7団体）及び防犯功労ボランティア団体（3団体）が、犯罪のない安全で安心なまちづくりに貢献しているということで表彰されました。

ネットワーク生活安全部会は、防犯功労団体としての受賞ですが、平成26年の札幌地区防犯協会連合会からの表彰に続く快挙となりました。

これからも、青色回転灯装備車（青パト）

の活用をはじめ、皆様のご支援・ご協力を頂きまして、地域に根ざした防犯活動を進めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



行事予定

9月3日（日）

第14回 白石地区いきいき健康まつり
会場：白石小学校体育館・グラウンド

9月4日（月）～11日（月）

タイルアート制作
会場：白石こころーど南南郷トンネル

9月（予定）

地域の支え合い活動推進会議
会場：白石会館

10月14日（土）

第10回 まちづくりふれ愛音楽会
会場：白石中学校体育館

1月5日（金）

白石地区新年交礼会
会場：アサヒビール園

1月（予定）

第13回 白石・雪であそぼう！in南郷丘公園
会場：南郷丘公園



編集後記

今年度も白石地区ネットワーク協議会の各部会における活動も始まり、これまで受けた情報のもとで「ネットワーク」第24号を発刊することができました。

情報交流部会としても、新しいメンバーで取り組むこととなり、新鮮な魅力を引き出しながら今後も広報誌作成に努めたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

情報交流部会 部会長 大赤見 博